

よこはま こども植物園だより

No.167(早春号)

〒232-0066 横浜市南区六ツ川 3-122
TEL 045-741-1015 FAX 045-742-7604
開園 9:00-16:30 (第3月曜日は休園、祝日の場合は翌日)
http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/



令和4年2月発行
発行部数 23,000部
編集・発行
(公財)横浜市緑の協会
横浜市こども植物園

タケは、食用だけではなく、建築材料や日常生活品や工芸品などの材料として、古来より利用されてきました。プラスチックの出現により、素材として昔ほど利用されなくなりましたが、まさに日本の文化を支えてきた存在といえるでしょう。今回は、そんなタケの仲間を紹介します。

人の暮らしと植物
有用植物
03

春は たけのこ 竹物語

～タケについて知ろう～

△：タケノコを食用にする

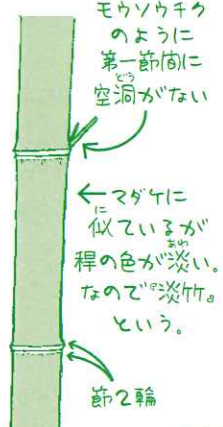
日本三大有用竹

八百屋で見かけるのは、モウソウチクのタケノコ。でも食用になるタケはほかにもあるよ。

最もおいしいタケノコ

△ ハチク (淡竹)

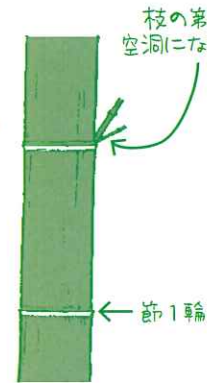
Phyllostachys nigra
【分布】中国からの外来種とされる。北海道～山陰地方。在来種との見方もある。
【稈】高さ10～16m Φ6～10cm
節の輪数：2 枝数：2
【用途】食用。細く割しやすいという材質から、茶筌などの茶道具、竹ひご細工、竹ぼうきなど。
【タケノコ】春皮(稈鞘)に模様がでない。稈がまだら模様の「シホウチク」、黒色の「クロチク」などの品種がある。



国内最大

△ モウソウチク (孟宗竹)

Phyllostachys edulis (edulis=食べられる)
【分布】一説には平安時代に中国から入ったといわれる。本州、四国、九州。
【稈】高さ20m Φ12cm
節の輪数：1 枝数：2
【用途】食用、建材、容器、竹炭。
変種に「キッコウチク」
【タケノコ】春



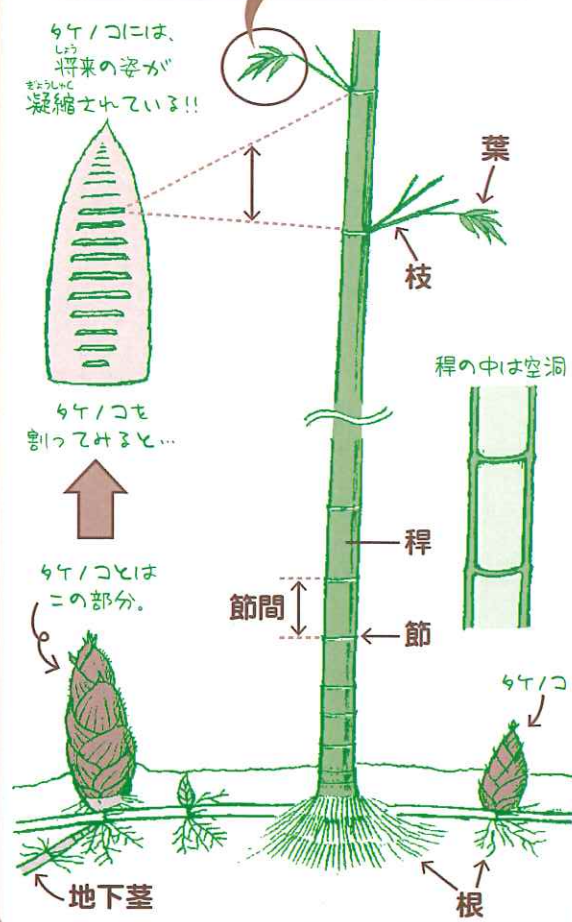
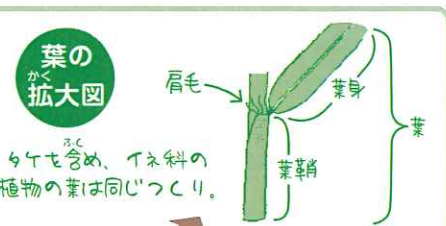
変わったモウソウチク
キッコウチク (亀甲竹)
Phyllostachys edulis 'Kikko-chiku'
モウソウチクの変種

最も歴史のあるタケ
マダケ (真竹)

Phyllostachys reticulata
【分布】中国からの外来種と考えられている。本州、四国、九州。在来種との見方もある。
【稈】高さ15m～20m Φ12cm
節の輪数：2 枝数：2
【用途】竹細工、日用雑貨(例：そろばん)、家具、武具の弓、皮は生食品の包装。別名「苦竹」といい苦味やあくが強く食品としてはあまり利用されない。長岡京跡からマダケの排水管が見つかった。



竹のからだ



クロチク

ウンモンチク

最も特徴のあるタケ

△ シホウチク (四方竹)

Chimonobambusa quadrangularis
【分布】中国からの外来種。
【稈】高さ4～5m Φ3～4cm
節の輪数：2
枝数：3以上
【用途】鑑賞用のほか、秋タケノコとして食用にする。
【タケノコ】秋シカクダケとよばれることもあるように、稈が四角い。



国内最小

オカメザサ (阿亀笹)

Shibataea kumasaca
【分布】関東以西。
【稈】高さ1～2m Φ3～4cm
節の輪数：2
枝数：3～5
【用途】編み物細工(かごやざる)。
【タケノコ】春日本で見られるタケの中で最小。

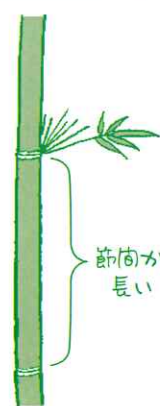


ササじゃなくてタケなんだね。※ササについては裏面を見てね。

熱帯性のタケ

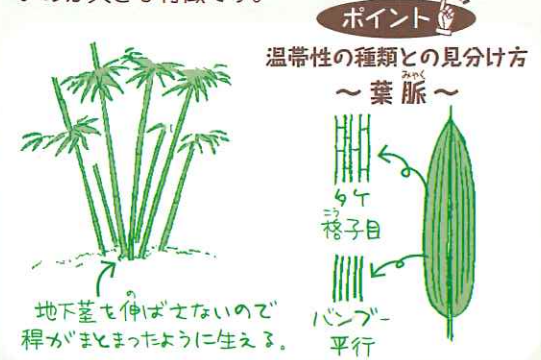
△ ホウライチク (蓬萊竹)

Bambusa multiplex
【分布】中国南部、インドシナ
【稈】高さ6～9m Φ3～5cm
節の輪数：1
枝数：7～8
【用途】食用、編み物細工(かごやざる)、竹筴、筆など。
【タケノコ】夏～秋



熱帯性タケ類 ～バンブー～

タケ(ササ)の仲間には、生えている地域の気候によっておおまかに温帯性と熱帯性の種類に分けられます。英語でタケをバンブー(bamboo)といいますが、分類学では、熱帯性のタケ類をバンブーとして区別します。地下茎を伸ばさないのが大きな特徴です。



編集・作成(文・画)ノ速水善浩

ササ類

クマザサ (隈笹)

Sasa veitchii var. veitchii
【分布】京都周辺がもとの自生地といわれているが、北海道から九州までの山地で見られる。

【稈】高さ1m前後

【用途】日本庭園によく植ええられる。笹寿司の葉、お茶など。

名前の由来は、冬に葉の縁が白く隈取られるため。



△カンチク (寒竹)

Chimonobambusa marmorea

【分布】東南北部以南、日本特産。

【稈】高さ3~5m

【用途】食用、家具などの材、庭園用や生垣。

【タケノコ】秋
名前の通り、秋にタケノコが発生する。美味。



意外! タケとササは同じ仲間

タケとササを区別するのはここ



タケとササは、どちらもイネ科のタケ亜科に分類されます。つまり同じ仲間。稈から皮(稈鞘)が自然と落ちるのがタケで、成長しても稈に皮が張りついたら残っているのがササとされています。

チゴザサ (稚児笹)

Isachne globosa

関東以西に生える「チネザサ」の斑入りの品種。

【稈】高さ20~50cm

【用途】おもに鑑賞用。



ラッキョウヤダケ (辣韭矢竹)

Pseudosasa japonica 'Tsumumiana'

本州以西に生えるヤダケの品種

【稈】高さ2~4m

【用途】ヤダケは武道具の矢の材料。筆軸、団扇などに使われる。

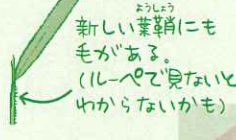
稈がラッキョウのような形をしている。

タケといってもササ、ササといってもタケ、ややこしいね。



横浜の名が付くササ

1912年松野重太郎教諭が西区で発見。植物学者の牧野富太郎が、新種「ヨコハマダケ」として発表しました。名前はタケになっていますが、ササの仲間です。こども植物園では、発見地から移された苗が竹園で育っています。横浜の名が付く野生植物には、ほかに「ヨコハマイノデ」と「ヨコハママンネングサ」があります。



世界にはこんなタケも!

●世界最大のタケ●

東南アジア原産のソウタケ

Dendrocalamus giganteus

はなんと高さ30m、直径30cmにもなります。



●ジグザグのタケ●

ディノクロアという仲間のタケは、他の樹木の幹をジグザグによじ登ったり地面をはったりします。



横浜市こども植物園

春のイベント

新型コロナウイルスの影響等でスケジュールは変わることがあります。ホームページ等でご確認をお願いいたします。

タケノコ収穫体験

日時: 4月10日(日)
10:00~12:00

費用: 1000円/組

対象: 小学生(保護者同伴)

締切: 3月27日(日) 定員: 10組

春祭り

日時: 5月5日(木・祝)

10:00~15:00

内容: 収穫物・ドライフラワーの

販売、ヨーヨー釣り、その他

場所: 展示研修館

申込方法

【講座名】【開催日】【保護者氏名】【お子様氏名・学年】【ご住所】【電話番号】を明記の上、ハガキ、Fax、ホームページ、窓口のいずれかでお申し込みください。締切日必着。応募多数の場合は抽選します。結果は当選者と補欠の方に開催日の10日前を目安にお知らせします。

(お問い合わせ) TEL 045-741-1015 FAX 045-742-7604

〒232-0066 横浜南区六ツ川3-122 横浜市こども植物園

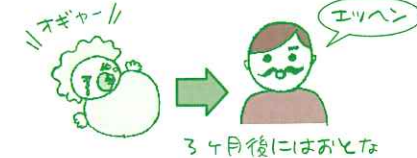
http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/

横浜みどりアップ計画

タケあれこれ

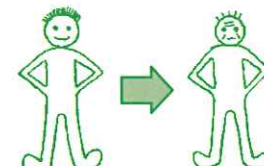
おどろきの成長速度

タケノコはわずか2~3か月で一人前のタケになってしまいます。マダケやモウソウチクでは、1日になんと1mほども伸びる事が知られています。



木のように木ではない

草は、地上部が1~2年で枯れます。木は、年々成長して大きくなっていきます。タケの稈は固く、何年も地上にあるのですが、一気に成長した後は伸びたり太ったりしません。また、1~2年で地上部が枯れてしまう種類もあります。つまり、草とも木ともいえないのが答えです。



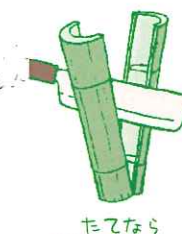
タケの一生

タケは、種子植物なので種子で殖えます。1つの株は、地下茎を伸ばし次々とタケノコを出して、竹やぶをつくります。その後開花し種子を实らせますが、開花までの周期は種類によって違います。実を着けた後、完全に枯れてしまう種類や、マダケやハチクのように結実せずだけ枯れて地下茎は残る種類もあります。

使われるのには訳がある!

タケの性質: 曲がる・割れる

横方向には柔軟性があり、曲げても簡単にポキッと折れません。しかし縦方向には、割れやすいのが特徴です。この特徴を活かして、さまざまな竹製品が作られてきました。



どんなものがあるか調べてみよう!



雪の重みでも折れない。

たてなら簡単に割れる。

●エジソンとマダケ●

アメリカの発明王トーマス・エジソン(1847~1931年)は、世界中から6000種類にもなる植物繊維を集めました。そして1880年、そのなかの京都・男山の岩清水八幡産のマダケで、平均寿命1000時間も持続する電球のフィラメントを作ること成功したのです。この時に使ったマダケの子孫が、こども植物園に「エジソンのマダケ」として植えられています。



2022年度「みどりの学校」生徒募集!

令和4年4月~令和5年3月まで

収穫体験や観察、クラフトづくりを通して、知っているようで知らない身近な植物のあれこれに触れてみませんか? 同時に、こどもたちの活動をサポートして下さるボランティア(高校生以上)も募集します。

募集要項

- 【開催日時】年間スケジュールの通り。
- 【募集人数】小学校 新5,6年生 10人 / サポーター(高校生以上) 若干名
- 【応募条件】横浜市内に住んでいて、1年間を通して参加できる人。 ※親子での参加はできません。
- 【参加費】小学生 1年間 4,000円 別途図鑑代として1,500円程度 / サポーター(高校生以上) 無料
- 【申込方法】Faxまたはハガキに講座名「みどりの学校」と、名前(ふりがな)、男女別、住所、学校名、学年、電話番号をご記入の上、締切日までにお送りください。HPからもお申込みいただけます。応募多数の場合は抽選し、当選者と補欠の方には、結果を郵送でお知らせします。落選された方には、抽選結果の連絡をいたしませんのでご了承ください。尚、サポーター希望の方は、詳細についてホームページをご覧ください。
- 【申込締切日】3月18日(金) 必着
- 【送り先】〒232-0066 横浜南区六ツ川3-122 横浜市こども植物園 FAX: 045-742-7604 お問い合わせ TEL: 045-741-1015 http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/

2022年度 みどりの学校 年間スケジュール

※感染症拡大防止のため、開催中止や内容を変更する場合があります。

回数	開催日	曜日	時間	内容
1	4月17日	日		開校式とオリエンテーション
2	5月15日	日		夏野菜の種まき/植物の名前を調べよう
3	6月19日	日		ウメの収穫/夏野菜とアジサイの観察
4	7月17日	日		タケの観察/笹舟遊び/手すきハガキ作り
5	8月21日	日		タデアイのたたき染め
6	9月18日	日	10:00~12:00	冬・春野菜の種まき/花の種まき/夏野菜の収穫
7	10月16日	日		冬・春野菜の観察/柿展とくだもの園の見学
8	11月3日	木・祝		落ち葉感謝祭に参加
9	11月20日	日		カンキツ類の観察/リース作り
10	12月18日	日		縁起植物の話/門松作り
11	1月15日	日		こめ展の見学・脱穀体験/冬・春野菜の収穫
12	2月19日	日		夏ミカン・ハッサクの収穫/冬芽の観察
13	3月19日	日		ブーケ作り/開校式